研究指導の概要

■ ライフイノベーション学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期	研究内容及び指導方法等
1年次	春（秋）	修士研究の実施にあたり、指導教員の下で、最新の専門知識だけでなく研究動向を理解し、研究目的を明確化する。 ・研究公正と適切なデータの取り扱いについて指導を受け、具体的な行動規範を明確化し、運用ルールを定める。 ・関連研究や最新の研究論文の調査に基づき、具体的な研究計画を立てる。 ・文献調査の結果や研究進捗について、研究室内および他研究室の学生を交えて、プレゼンテーションやディスカッションを行う。 ・必要に応じて研究目的や研究計画を修正する。
	秋（春）	前学期に立案した計画に基づいて、指導教員の下で、研究スキルを修得しつつ、研究を実施する。 ・研究を実施し、研究の進捗について指導教員と議論する。 ・文献調査により最新の研究動向をフォローする。 ・研究室内および他研究室の学生を交えて、研究進捗や文献調査結果に関するプレゼンテーションやディスカッションを行う。 ・1年目の研究成果を総括し、今後の研究計画について評価・検討する（達成度評価I）。
2年次	春（秋）	前学期において検討された研究計画に基づいて、研究成果を取りまとめていくことを意識し、指導教員の下で、研究を実施する。 ・研究を実施し、研究の進捗について指導教員と議論する。 ・研究発表会やジャーナルクラブにおける発表や議論を通して、最新の研究知識だけでなく研究動向をフォローする。 ・研究成果の解釈について議論し、研究のとりまとめに向けた研究計画を評価・検討する。
	秋（春）	修士研究の取りまとめに重点を置き、指導教員の下で、研究を実施する。 ・研究を実施し、研究の進捗について指導教員と議論する。 ・研究発表会やジャーナルクラブにおいて、研究進捗や文献調査の結果を発表し、議論する。 ・研究成果を取りまとめ、修士にふさわしい研究能力を修得する（達成度評価II）。 ・研究成果の発表と総括を行い、修士研究を完成させる（最終試験・公開発表）。